

毎年6月、12月～2月は 重点実施期間です

転ばないでね!

須賀川労働基準監督署管内の労働災害は、転倒によるものが最も多く、**全体の約2割**を占め、**年間20件前後**と多発しています。また、被災者の約7割を50歳以上の労働者が占めています。転倒災害を軽く考える方もいますが、**1か月以上の休業が7割弱**で、休業する期間は長期に亘っています。

転倒災害は全ての業種に共通して発生リスクがあります。

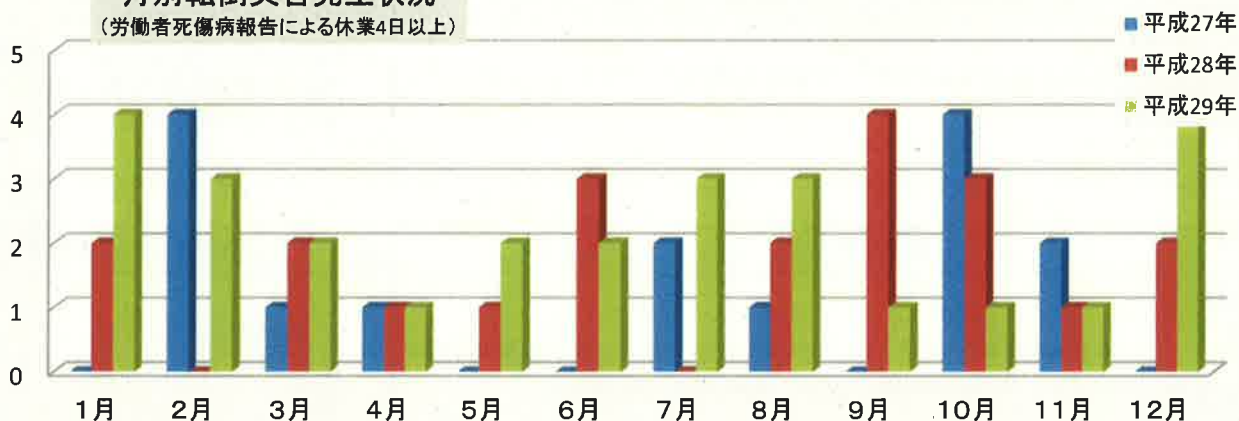
各事業場において**転倒災害防止対策**を徹底し、**安心して働ける職場環境**をつくりましょう。



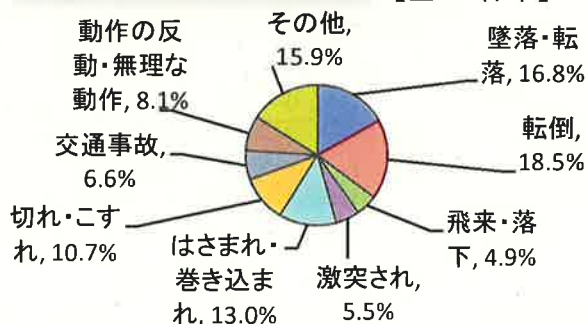
©2015 ゼロライくん

月別転倒災害発生状況

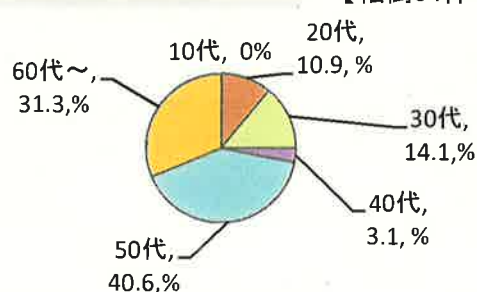
(労働者死傷病報告による休業4日以上)



事故の型別災害発生状況 【全346件中】

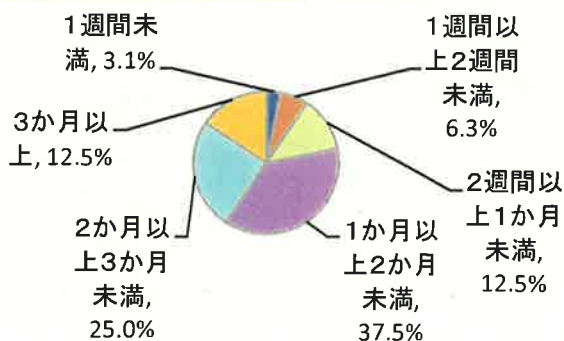


年齢別転倒災害発生状況 【転倒64件中】



※平成27年から平成29年までの3年間を対象として集計

転倒災害 休業日数別 【転倒64件中】



©2018 レイコさん

たかが転倒、されど転倒！
何と言っても
転ばないことがイチバン

こんな災害が実際に起きています！

災害発生状況		再発防止のポイント
保健衛生業	厨房内にて調理済みの副菜を運んでいたところ、段差に足を取られ、転倒した。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房内の床面の段差等をなくす。 ・ 段差がある箇所に標識を付け、注意喚起する。 ・ 転倒災害についての安全教育を行う。
調理師		
50代・男性		
休業22日		

災害発生状況		再発防止のポイント
その他の商業	駐車場出口で客の車が雪のためスリップして動けなくなったことから、車を押したところ、急に車が動き出し、支えを失って転倒した。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地内及びその近辺の除雪、融雪剤の散布を徹底する。 ・ 膝、肘用プロテクターを着用する。 ・ 滑りにくい靴を履く。
店員		
40代・男性		
休業12日		

災害発生状況		再発防止のポイント
飲食業	調理で使用するために調味料を運んでいたところ、オープン前で転倒した。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理で床に飛んだ油、水を清掃する。清掃で使用した洗剤を拭く。 ・ 滑りにくい靴を履く。
調理員		
40代・男性		
休業3か月		

災害発生状況		再発防止のポイント
製造業	空の台車を引いて、少し後ろに下がったところ、通路にはみ出していたパレットの角に躓き、後ろ向きに転倒した。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全通路を確保する。 ・ 進行方向の安全を確認してから下がる。
製造工		
60代・男性		
休業2週間		

災害発生状況		再発防止のポイント
運送業	配送先で荷卸し作業中、荷台から降りたところ、照明が暗くてパレットに気づかず、足を少し掛けてしまい、転倒した。	<p>【配送先の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 搬入者の安全を配慮して荷卸し場所での照明を確保する。 ・ 降りる際、足元を十分確認する。
運転手		
40代・男性		
休業20日		

転倒災害について、「不注意」・「本人が悪い」と考える方がいますが、
会社として
設備や作業方法の改善を行う等により対策を立て、
リスクを減らすこと
が基本です。



こうして防ごう、転倒災害！

1 安全委員会等による取組み

- ① 転倒災害防止に係る現状と対策の調査審議
- ② チェックリストを活用して安全委員会等による職場巡視を実施し、
職場環境の改善と労働者の意識啓発を図りましょう。

● 組織で取組むことで、様々な改善を図ることができます。

2 基本は4S「整理」「整頓」「清掃」「清潔」

- ◎ 荷物やゴミなどが散らかっている職場や、水や油で床が滑りやすい職場は、災害の危険が高くなります。
- ◎ 4S活動は、作業のしやすさ、作業の効率化にもつながります。

3 設備面の改善

- ◎ 「手すりを設ける」「段差をなくす」等の措置により、リスクを減らしましょう。
- ◎ 照明は明るさが確保されていますか。

4 見える化



※ 見えない危険を可視化することで、危険認識や注意喚起を高めましょう。

- (例)
- ◎ 通行区分を定め、事故の多い下3段に段数を示し、注意喚起を図る。

5 危険マップを作成する(通年・冬季)

職場の平面図に次のことを書き入れ、注意喚起しましょう。

- ・ 過去に災害が発生した場所
- ・ ヒヤリ・ハット事例の多い箇所
- ・ 危険予知活動で注意が必要とされた箇所
- ・ リスクアセスメントで作業上の注意が必要とされた箇所や作業

6 冬季は ヒートマット等を設置



※ 事務所出入り口の階段など滑り易い箇所にヒートマットを設置する。

7 作業靴 靴の選び方 ※ 「適切なサイズ」は当たり前。このほかに気を付けたい5つのポイント

靴の屈曲性 屈曲性がよいと、地面との接地面が大きくなり、安定します。

靴の重量 靴が重いと、足が上がりにくくなり、摺り足になりやすい。 **摺り足は転倒の元!**

つま先部分の高さ トゥスプリング(地面からのつま先部分の高さ)が低いと、摺り足になりやすい。

靴の重量のバランス 鉄芯入り安全靴など靴の前部が重いと足を上げにくく、摺り足になりやすい。

靴底の対滑性 滑りやすい場所には滑りにくい靴底。カーペット敷きのように滑りにくい場所では滑りにくい靴底は逆に転倒の元。作業する場所に合わせて選ぼう。

参考: 高齢者向け作業靴の選び方 … 「高年齢労働者に配慮した職場改善マニュアル」中 P18～
(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei.html>)

8 冬季における移動時の 靴の選び方 雪や氷に負けないで!

ピン・金具付きの靴底

深い溝のある靴底

やわらかいゴム底

滑り止め材入りのゴム底

札幌発! 雪みちを安全・快適に歩くための総合情報サイト『転ばないコツおしえます』 より抜粋
(<http://tsurutsuru.jp/>)

さあ、次のページのチェックリストで点検してみましょう!!



転倒しそうなところはありませんか？

もう一度、あなたの職場をチェックしてみませんか

＜ 転倒災害防止のためのチェックリスト ＞

チェック項目		結果	NOの場合
1	安全衛生委員会で組織的に取り組んでいますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 1へ
2	整理・整頓・清掃・清潔に取り組んでいますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 2へ
3	通路、階段、出口に障害となる物を放置していませんか。	YES・NO	⇒ 前ページ 2へ
4	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 2へ
5	安全に移動できるような十分な明るさ(照度)が確保されていますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 3へ
6	作業靴は、作業や歩行に適し、ちょうど良いサイズのものをはいていますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 7へ
7	危険予知活動(KY活動)やヒヤリ・ハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 1、5へ
8	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識はありますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 4へ
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 1へ
10	時間に追われて、あわてて作業を行っていませんか。	YES・NO	
11	荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか。	YES・NO	
12	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか。	YES・NO	
13	<p>★ 冬季は、上記に加えてこの項目もチェックしましょう。</p> 積雪・凍結などによる転倒災害を防止するため、天気予報に気を配り、時間に余裕をもった歩行・作業、駐車場や屋外通路の除雪・融雪、適切な履物・歩行方法の教育を実施していますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 5、6、8へ

チェックの結果、NOのあった項目は、改善が必要です。

- ◎ 改善が必要な項目は、計画的に改善しましょう。
問題が改善されれば、安全水準が向上し、働きやすい職場に！
- ◎ どのように改善すればいいの？
前ページの該当トピックをご覧ください。
下欄の「STOP！転倒プロジェクト」特設サイトもご利用ください。



「STOP！転倒災害プロジェクト」特設サイトのご案内

「STOP！転倒災害プロジェクト」特設サイトでは、転倒災害の現状から対策まで事業場での取組に役立つ情報を提供しています。さまざまな対策事例を知りたい方はぜひ特設サイトをご覧ください。

厚生労働省ホームページ

職場のあんぜん STOP！転倒

検索